全国学力・学習状況調査問題

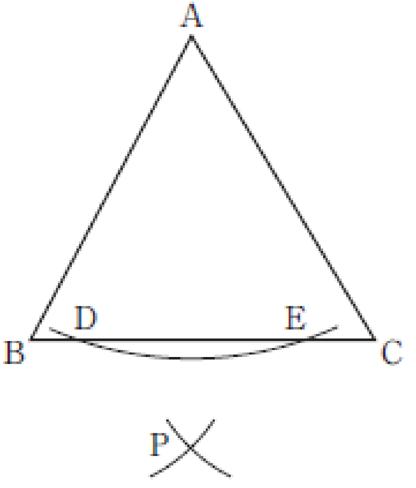
ひとつ、ひとつ、実現するふくしま

主に「図形」に関する問題を集めました。ご活用ください。

Vol.4（平成28年度～30年度）

4 次の(１)，(２)の各問いに答えなさい。

(１) 次の図の△ABCにおいて，下の①，②，③の手順で直線APを作図します。



作図の方法

① 頂点Aを中心として，辺BCと２点で交わる円をかき，その円と辺BCとの交点を点D，Eとする。

② 点D，Eをそれぞれ中心として，互いに交わるように等しい半径の円をかき，その交点の１つを点Pとする。

③ 頂点Aと点Pを通る直線をひく。

この方法によって作図した直線APについて，上の△ABCにおいて成り立つことがらを，下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。

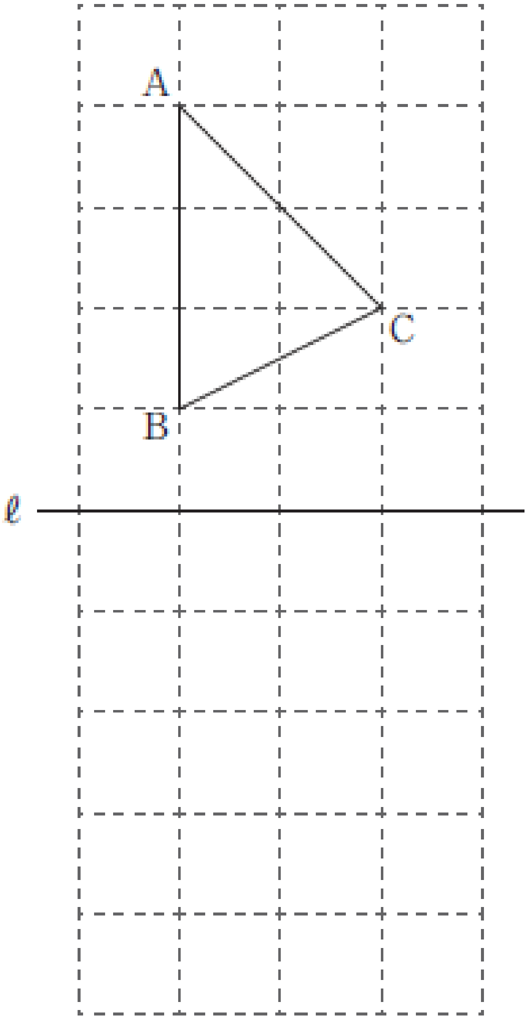
ア 直線APは，頂点Aと辺BCの中点を通る直線である。

イ 直線APは，辺BCの垂直二等分線である。

ウ 直線APは，∠BACの二等分線である。

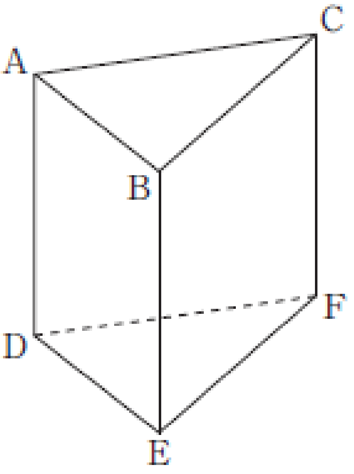
エ 直線APは，頂点Aを通り辺BCに垂直な直線である。

（２）下の図の△ABCを，直線 ℓ を軸として対称移動した図形を，解答用紙の方眼を利用してかきなさい。

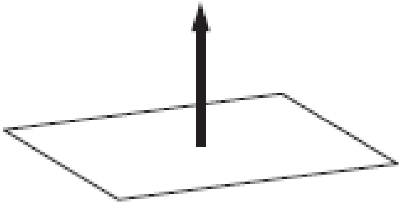


5　次の(1)から(4)までの各問いに答えなさい。

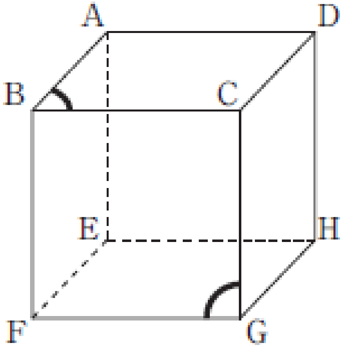
(1) 下の図の三角柱には，辺ADとねじれの位置にある辺がいくつかあります。そのうちの1つを書きなさい。



(2) 四角形が，その面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動くと，その動いたあとを立体とみることができます。このとき，できる立体の名称を書きなさい。



（３）右の図は立方体の見取図です。
この立方体の面ABCD上の∠ABCと，面BFGC上の∠FGCの大きさを比べます。∠ABCと∠FGCの大きさについて，下の**ア**から**エ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。



ア　∠ABCの方が大きい。

イ　∠FGCの方が大きい。

ウ　∠ABCと∠FGCの大きさは等しい。

エ　どちらが大きいかは，問題の条件だけでは決まらない。

（４）下の**図１**は円柱で，**図２**は円錐（すい）です。それぞれの立体の底面の円は合同で，高さは等しいことがわかっています。**図１**の円柱の体積が600 cm^3 のとき，**図２**の円錐の体積を求めなさい。

図１

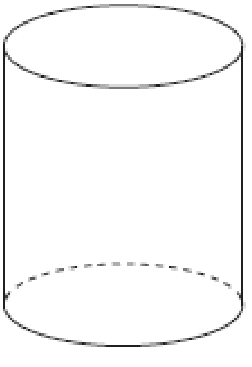
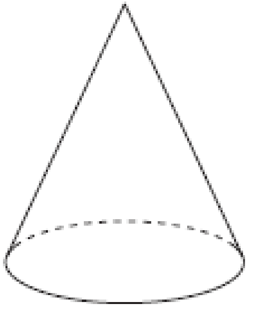
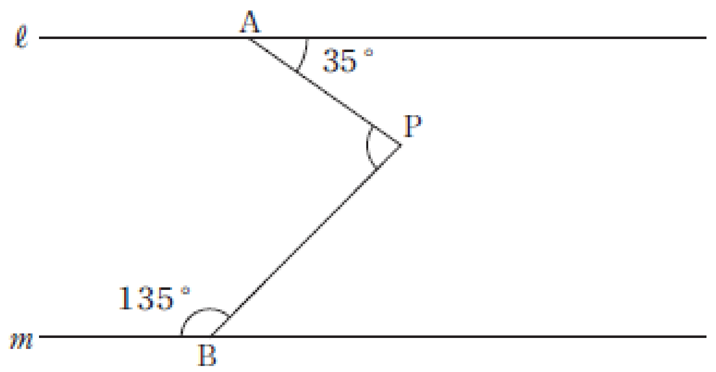


図２



6　次の(１)，(２)の各問いに答えなさい。

（１）下の図で，直線ℓ，mは平行です。このとき，∠APBの大きさを求めなさい。



（２）次の**図１**，**図２**は，多角形の各頂点において一方の辺を延長したものです。

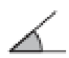
この２つの図で，それぞれ印を付けた角（  ）の和を比べるとき，どのようなことがいえますか。下の**ア**から**エ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。

図１

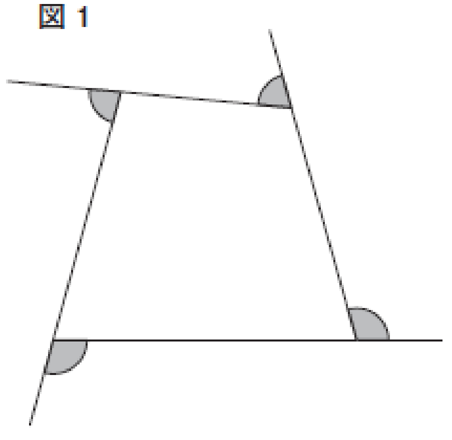
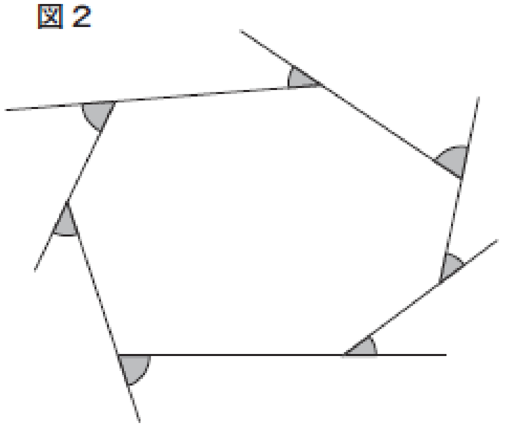


図２



ア　**図１**で印を付けた角の和と**図２**で印を付けた角の和は等しい。

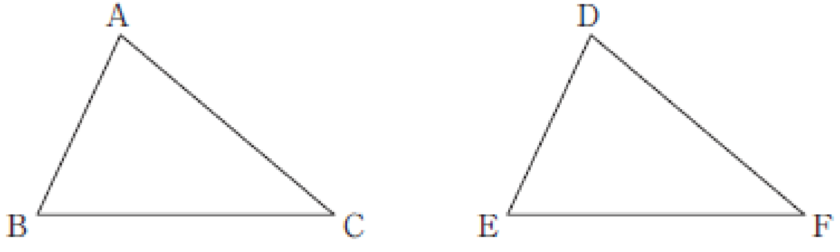
イ　**図１**で印を付けた角の和の方が大きい。

ウ　**図２**で印を付けた角の和の方が大きい。

エ　**図１**で印を付けた角の和と**図２**で印を付けた角の和のどちらが大きいかは，問題の条件からだけではわからない。

7　次の（１）から（３）までの各問いに答えなさい。

（１）次の図の△ABCと△DEFが合同であるかどうかを調べます。
このとき，対応する辺や角について，どのようなことがわかれば合同であるといえますか。正しいものを下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。



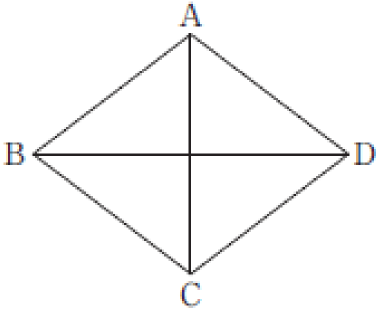
ア　∠B＝∠E，BC＝EF

イ　∠A＝∠D，∠B＝∠E，∠C＝∠F

ウ　AC＝DF，BC＝EF

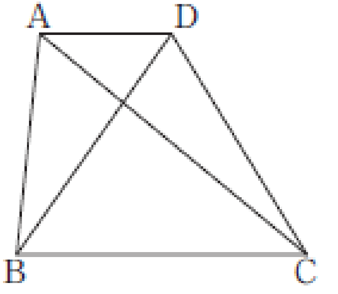
エ　∠B＝∠E，∠C＝∠F，BC＝EF

（２）下の図で，四角形ABCDはひし形です。



ひし形の対角線は垂直に交わるといえます。下線部を，上の図の頂点を表す記号と，記号⊥を使って表しなさい。

（３）右の図では，△ABCと△DBCの面積について，次のことがらが成り立ちます。



四角形ABCDで， AD//BC ならば △ABC＝△DBC である。

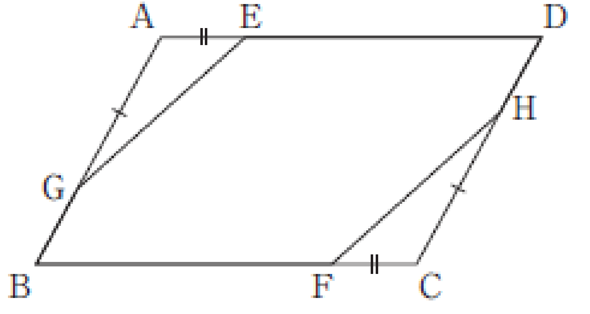
このことがらの逆を考えます。

下の［①］，［②］に当てはまるものを記号で表し，上のことがらの逆を完成しなさい。

四角形ABCDで， ［①］ならば［②］である。

8　平行四辺形ABCDで，辺AD，BC上に，AE＝CFとなるように点E，Fをそれぞれとります。また，辺AB，CD上に，AG＝CHとなるように点G，Hをそれぞれとります。このとき，EG＝FHとなることを，ある学級では，次の**図１**をかいて証明しました。

図１

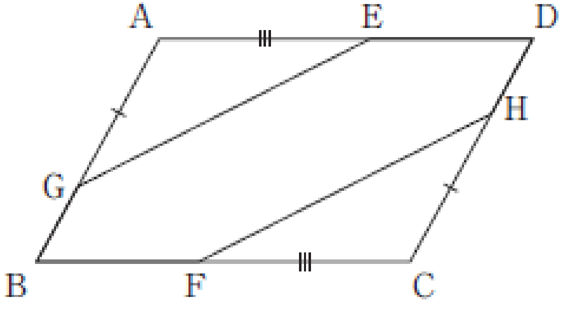


証明

△AEGと△CFHにおいて，
仮定より，　　AE＝CF　　……①
　　　　　　　AG＝CH　　……②
平行四辺形の向かい合う角は等しいから，
　　　∠EAG＝∠FCH　　……③
①，②，③より，２組の辺とその間の角がそれぞれ等しいので，
　　　△AEG≡△CFH
合同な図形の対応する辺は等しいので，
　　　EG＝FH

　この証明をしたあと，点Ｅ，Ｆの位置を**図２**のように変えました。このときも**図１**と同じようにＥＧ＝ＦＨとなるかどうかを考えてみたところ，下の**ア**から**エ**までのような意見が出ました。正しいものを１つ選びなさい。

図２



ア　**図２**の場合も，ＥＧ＝ＦＨであることは，すでに前ページの**証明**で示されている。

イ　**図２**の場合は，ＥＧ＝ＦＨであることを，改めて証明する必要がある。

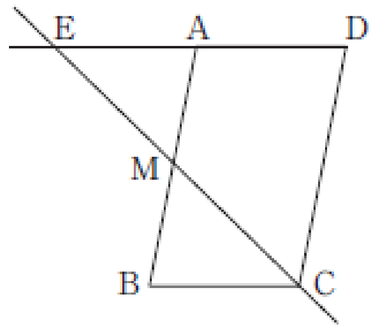
ウ　**図２**の場合は，ＥＧ＝ＦＨであることを，それぞれの辺の長さを測って確認しなければならない。

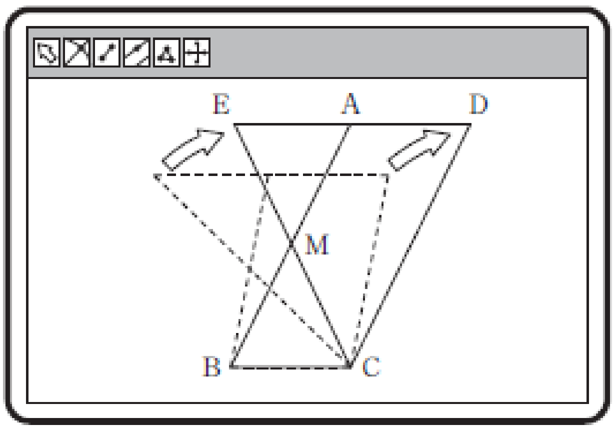
エ　**図２**の場合は，ＥＧ＝ＦＨではない。

4　右の図のように，平行四辺形ABCDの辺ABの中点をMとし，辺DAを延長した直線と直線CMとの交点をEとします。

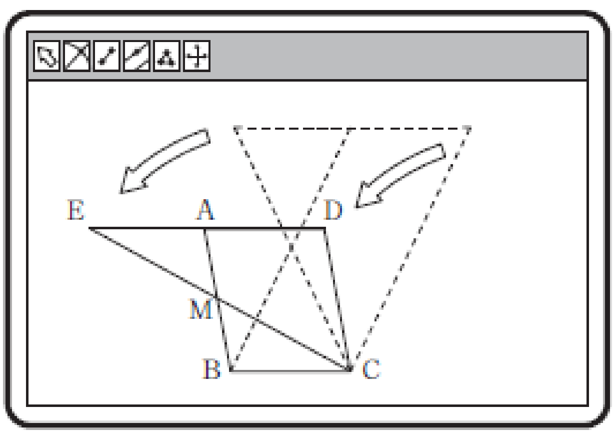
　ここで，健一さんと琴音さんは，コンピュータを使って平行四辺形ABCDをいろいろな形の平行四辺形に変え，いつでも成り立ちそうなことがらについて調べました。

図





平行四辺形ABCDを，縦にのばしながら，右に傾ける。



平行四辺形ABCDを，縦に縮めながら，左に傾ける。

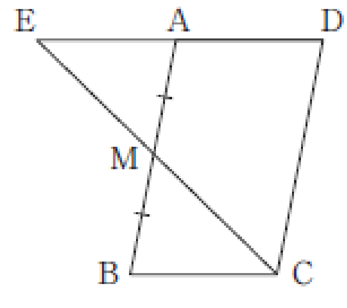
　二人は，コンピュータの画面上で図形を観察し，平行四辺形ABCDがどのような平行四辺形でも，AE＝BCになると予想しました。

次の(１)，(２)の各問いに答えなさい。

(１) 二人の予想したAE = BCがいつでも成り立つことは，前ページの図において△AME ≡ △BMCを示すことから証明できます。AE = BCとなることの証明を完成しなさい。

証明

△AMEと△BMCにおいて，



合同な図形の対応する辺は等しいから，

AE = BC

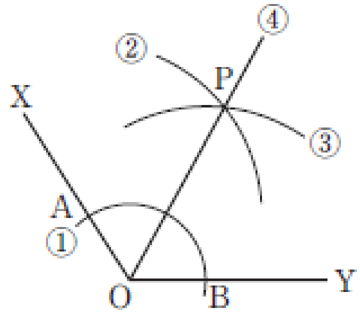
(２) 前ページの図について，DA：DC = １：２ ならば，△DECはどんな三角形になりますか。「～ならば，……になる。」という形で書きなさい。

4 次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 健太さんは∠XOYの二等分線を，次の方法で作図しました。

健太さんの作図の方法

① 点Oを中心として，適当な半径の円をかき，辺OX，OYとの交点をそれぞれ点A，Bとする。
② ①でかいた円の半径より長い半径で，点Aを中心として円をかく。
③ 点Bを中心として，②でかいた円の半径と等しい半径の円をかき，②の円との交点の1つを点Pとする。
④ 直線OPをひく。



この方法で∠XOYの二等分線が作図できるのは，上の図で点A，O，B，Pの順に結んでできる四角形AOBPがある性質をもつ図形だからです。その図形が，下の**ア**から**オ**までの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

ア　直線OPを対称の軸とする線対称な図形

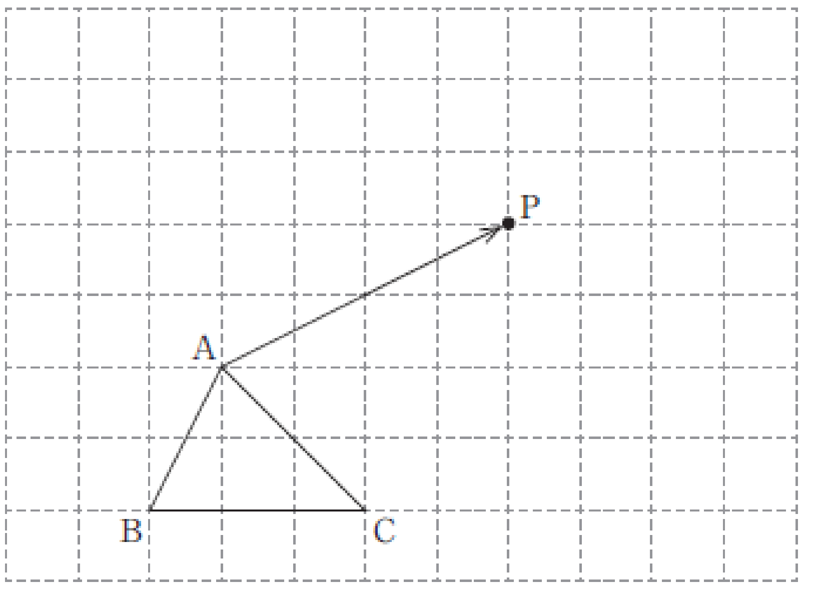
イ　直線OXを対称の軸とする線対称な図形

ウ　点Aと点Bを通る直線を対称の軸とする線対称な図形

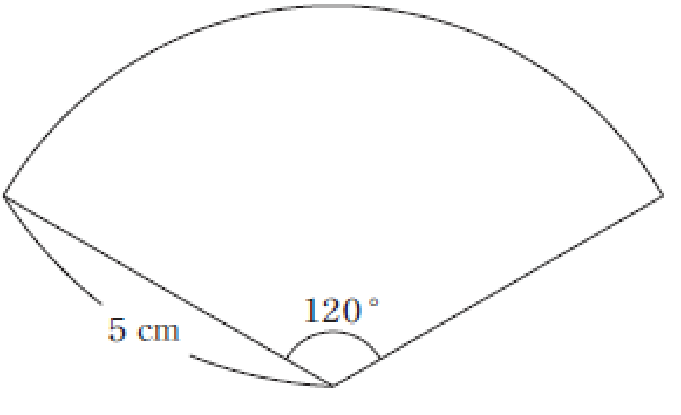
エ　点Oを対称の中心とする点対称な図形

オ　点Aと点Bを通る直線と直線OPの交点を対称の中心とする点対称な図形

（２）下の図の△ＡＢＣを，点Ａを点Ｐに移すように平行移動した図形を，
解答用紙の方眼を利用してかきなさい。

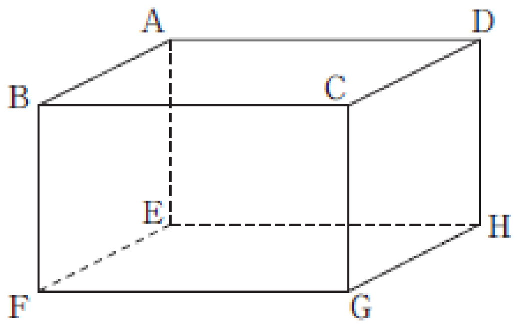


（３）半径が５cm，中心角が120°のおうぎ形の弧の長さを求めなさい。
ただし，円周率はπとします。

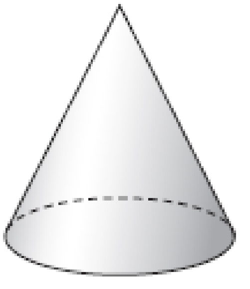


5　次の(１)から(４)までの各問いに答えなさい。

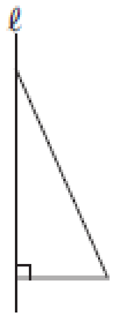
（１）次の図の直方体には，辺CGに平行な面がいくつかあります。そのうちの直方体の面を１つ選んで書きなさい。



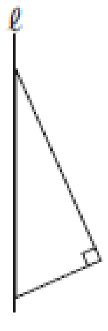
（２）右の図の円錐(すい)は，ある平面図形を直線のまわりに１回転させてできる立体とみることができます。直線 ℓ を軸として１回転させると，この円錐ができる図形が，下の**ア**から**エ**までの中にあります。正しいものを１つ選びなさい。



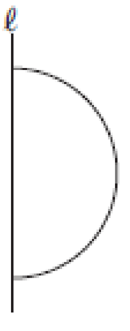
ア



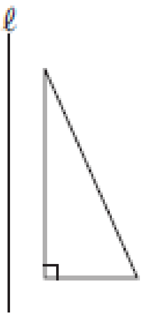
イ



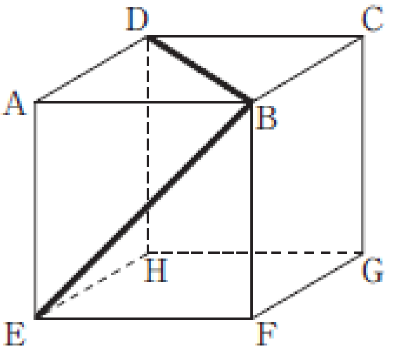
ウ



エ



（３）右の図は立方体の見取図です。
この立方体の面ABCD上の線分BDと面AEFB上の線分BEの長さを比べます。線分BDと線分BEの長さについて，下の**ア**から**エ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。



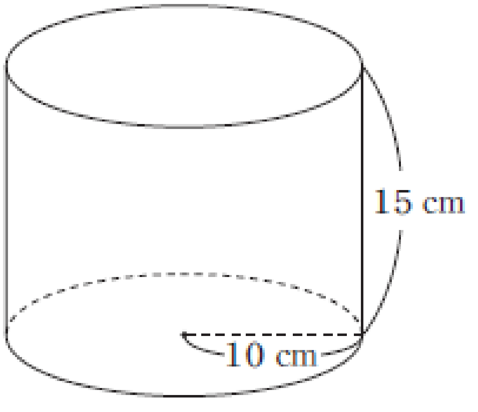
ア　線分BDの方が長い。

イ　線分BEの方が長い。

ウ　線分BDと線分BEの長さは等しい。

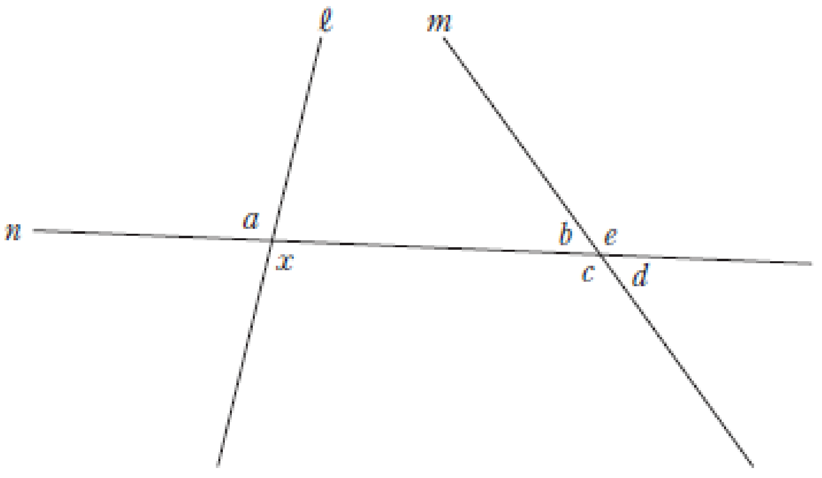
エ　どちらが長いかは，問題の条件だけでは決まらない。

（４）底面の半径が10 cm，高さが15 cmの円柱の体積を求めなさい。
ただし，円周率はπとします。



6 次の(1)，(2)の各問いに答えなさい。

(1) 次の図で，2つの直線 ℓ，m に1つの直線 n が交わっています。
このとき，$\angle x$ の錯角について，下の**ア**から**カ**までの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア　$\angle x$ の錯角は，$\angle a$ である。

イ　$\angle x$ の錯角は，$\angle b$ である。

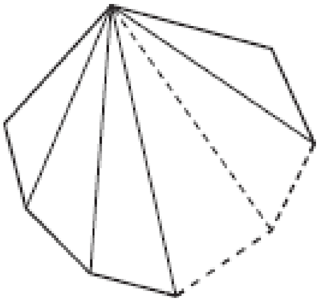
ウ　$\angle x$ の錯角は，$\angle c$ である。

エ　$\angle x$ の錯角は，$\angle d$ である。

オ　$\angle x$ の錯角は，$\angle e$ である。

カ　$\angle x$ の錯角は，$\angle a$ から $\angle e$ までの中にはない。

（２） n 角形の内角の和は，次の図のように，１つの頂点からひいた対角線によって，n 角形をいくつかの三角形に分けることで求めることができます。



n 角形は，１つの頂点からひいた対角線によっていくつの三角形に分けられますか。下の**ア**から**オ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。

ア　$n+1$（個）

イ　n（個）

ウ　$n-1$（個）

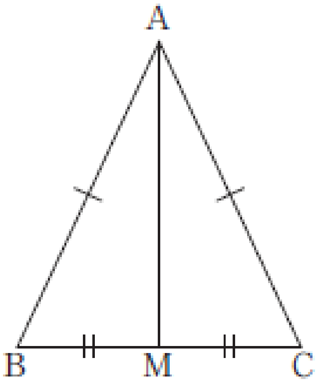
エ　$n-2$（個）

オ　$n-3$（個）

7　次の(１)，(２)の各問いに答えなさい。

(１) AB＝ACである二等辺三角形ABCがあります。辺BCの中点をMとして，直線AMをひきます。

このとき，∠BAM＝∠CAMであることを下のように証明しました。

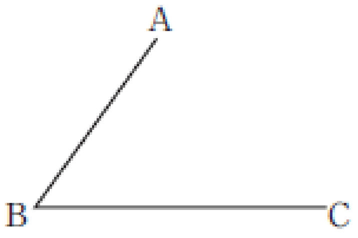


証明

△ABMと△ACMにおいて，
仮定から，　AB ＝ AC　…①
BM ＝ CM　…②
共通な辺だから，　AM ＝ AM　…③
①，②，③より，　$\boxed{}$ がそれぞれ等しいから，
△ABM ≡ △ACM
合同な図形の対応する角は等しいから，
∠BAM ＝ ∠CAM

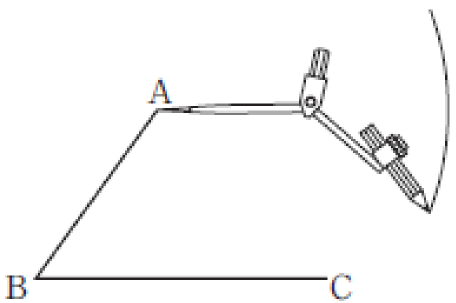
上の証明の $\boxed{}$ に当てはまる言葉を書きなさい。

（２）次の図のように，点Ａ，Ｂ，Ｃがあり，点Ａと点Ｂ，点Ｂと点Ｃを結びます。

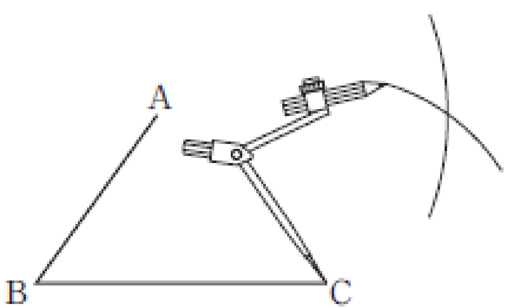


下の①，②，③の手順で点Ｄをとり，平行四辺形ＡＢＣＤをかきます。

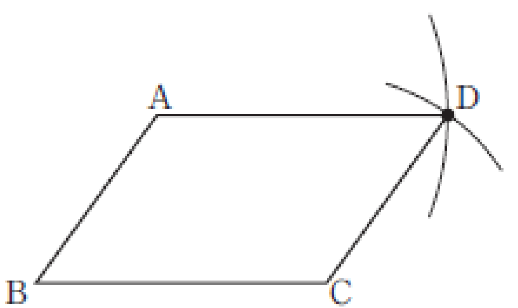
① 点Ａを中心として，ＢＣを半径とする円をかく。



② 点Ｃを中心として，ＡＢを半径とする円をかく。



③ 交点をＤとし，点Ａと点Ｄ，点Ｃと点Ｄを結ぶ。



前ページの①，②，③の手順では，どのようなことがらを根拠にして平行四辺形ABCDをかいていますか。下の**ア**から**オ**までの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア　2組の向かい合う辺がそれぞれ平行な四角形は，平行四辺形である。

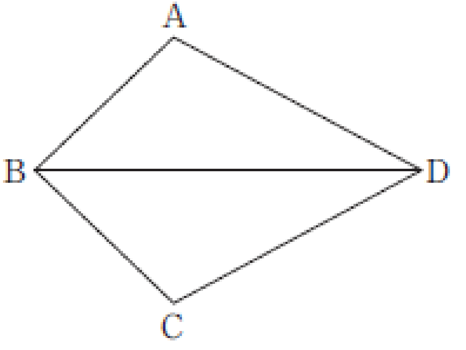
イ　2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は，平行四辺形である。

ウ　2組の向かい合う角がそれぞれ等しい四角形は，平行四辺形である。

エ　1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しい四角形は，平行四辺形である。

オ　対角線がそれぞれの中点で交わる四角形は，平行四辺形である。

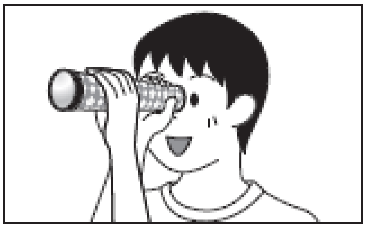
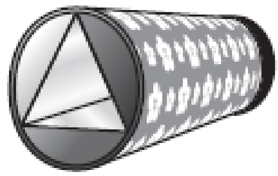
8　次の図の四角形ABCDについて，下のことがらが成り立ちます。



∠ABD＝∠CBD，∠ADB＝∠CDBならば，AB＝CBである。

上のことがら「∠ABD＝∠CBD，∠ADB＝∠CDBならば，AB＝CBである。」の中で，仮定にあたる部分をすべて書きなさい。

1　万華鏡は次のような筒状のおもちゃで，中に３枚の鏡を組み合わせた正三角柱が入っています。鏡が内側に向いているので，中をのぞくと，正三角柱の底面にある模様が周りの鏡に映って，美しい模様が見えます。


正三角柱の底面にある模様が**図１**である場合，**図２**のような模様が見えます。これは，隣り合う正三角形がすべて，共通する辺を軸に線対称になっているとみることができます。例えば，**図３**にある４枚の正三角形に着目すると，隣り合う正三角形は，共通する辺を軸に線対称になっていることがわかります。

図１

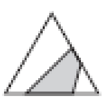


図２

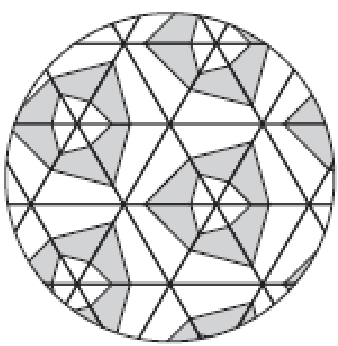
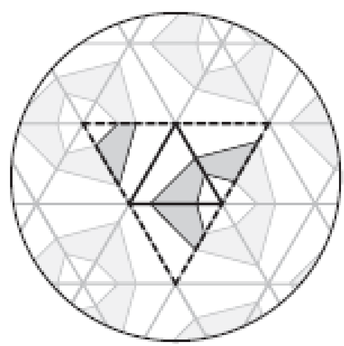


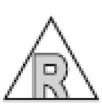
図３



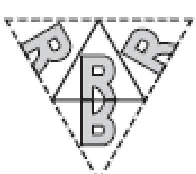
次の(１)から(３)までの各問いに答えなさい。

(１)　**図３**の真ん中にある正三角形が下の**図４**の模様である場合を考えます。このとき，点線で囲まれた正三角形の模様が，下の**ア**から**エ**までの中にあります。それを１つ選びなさい。

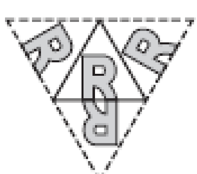
図４



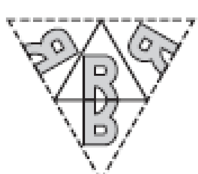
ア



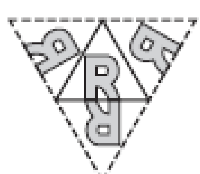
イ



ウ

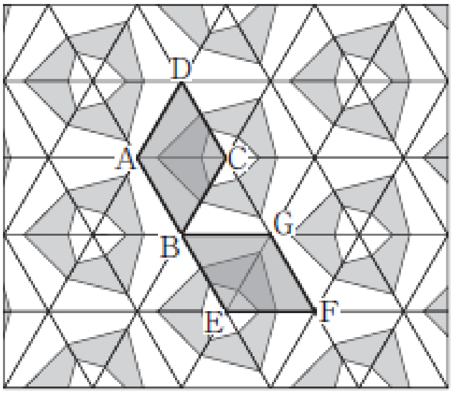


エ



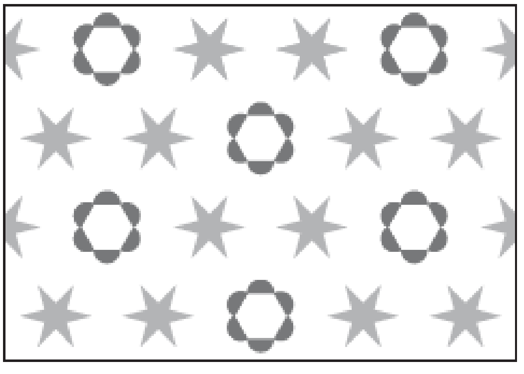
（２）前ページの**図２**の模様を**図５**のように広い範囲で考えます。**図５**の四角形ABCDの模様は，１回の回転移動で四角形GBEFの模様に重なります。四角形ABCDの模様は，どのような回転移動によって四角形GBEFの模様に重なるか書きなさい。

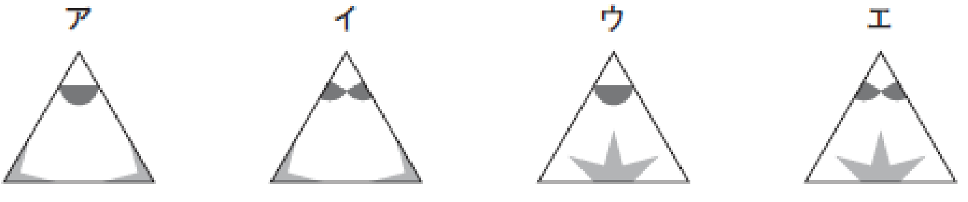
図５



（３）**図６**のような模様を作ろうとするとき，そのもととなる正三角形はどのような模様にすればよいですか。下の**ア**から**エ**までの中に，もととなる正三角形の模様があります。それを１つ選びなさい。

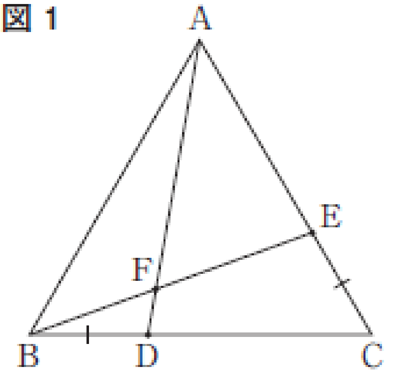
図６





4 下の**図１**のように，正三角形ABCの辺BC，CA上にBD＝CEとなる点D，Eをそれぞれとります。また，線分ADと線分BEの交点をFとします。ただし，点Dは点B，Cと，点Eは点C，Aと重ならないものとします。

図１



次の（１）から（３）までの各問いに答えなさい。

（１）**図１**において△ABD≡△BCEを示し，それをもとにして，∠BAD＝∠CBEであることが証明できます。∠BAD＝∠CBEとなることの証明を完成しなさい。

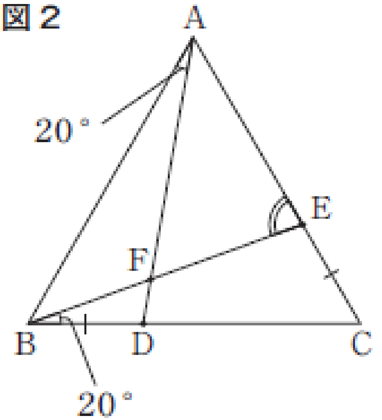
証明

△ABDと△BCEにおいて，

合同な図形の対応する角は等しいから，
∠BAD＝∠CBE

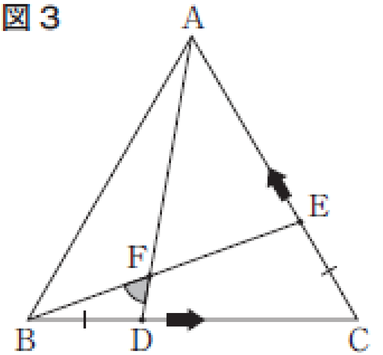
（２）次の**図２**のように，**図１**の∠BADと∠CBEを20°とします。このとき，∠BEAの大きさを求めなさい。

図２



（３）前ページの**図１**において，∠BAD＝∠CBEが成り立ちます。次の**図３**のように，**図１**の点Dは辺BC上を点Cの方向に，点Eは辺CA上を点Aの方向に，BD＝CEの関係を保ったまま動きます。このとき，∠BFDの大きさについて正しく述べているものを，下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。

図３



ア　∠BFDの大きさは，小さくなっていく。

イ　∠BFDの大きさは，大きくなっていく。

ウ　∠BFDの大きさは，変わらない。

エ　∠BFDの大きさは，問題の条件だけでは決まらない。

4 次の（１）から（３）までの各問いに答えなさい。

（１）ひし形について正しく述べたものを，下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。

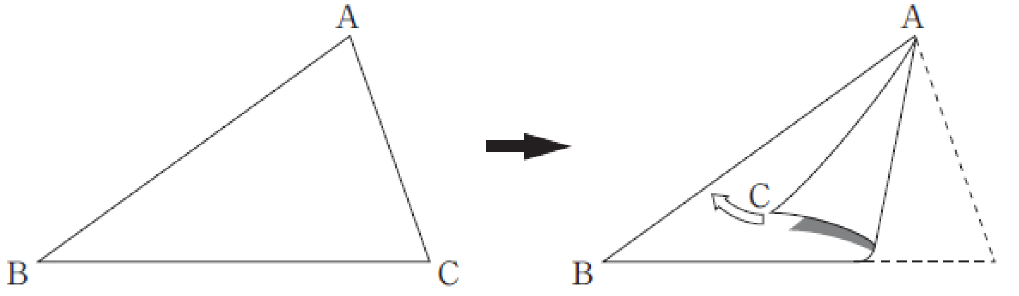
ア　ひし形は，線対称な図形であり，点対称な図形でもある。

イ　ひし形は，線対称な図形であるが，点対称な図形ではない。

ウ　ひし形は，線対称な図形ではないが，点対称な図形である。

エ　ひし形は，線対称な図形ではなく，点対称な図形でもない。

（２）次の図の△ABCを，辺ACが辺ABに重なるように折ったときにできる折り目の線を作図しようとしています。どのような線を作図すればよいですか。下の**ア**から**エ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。



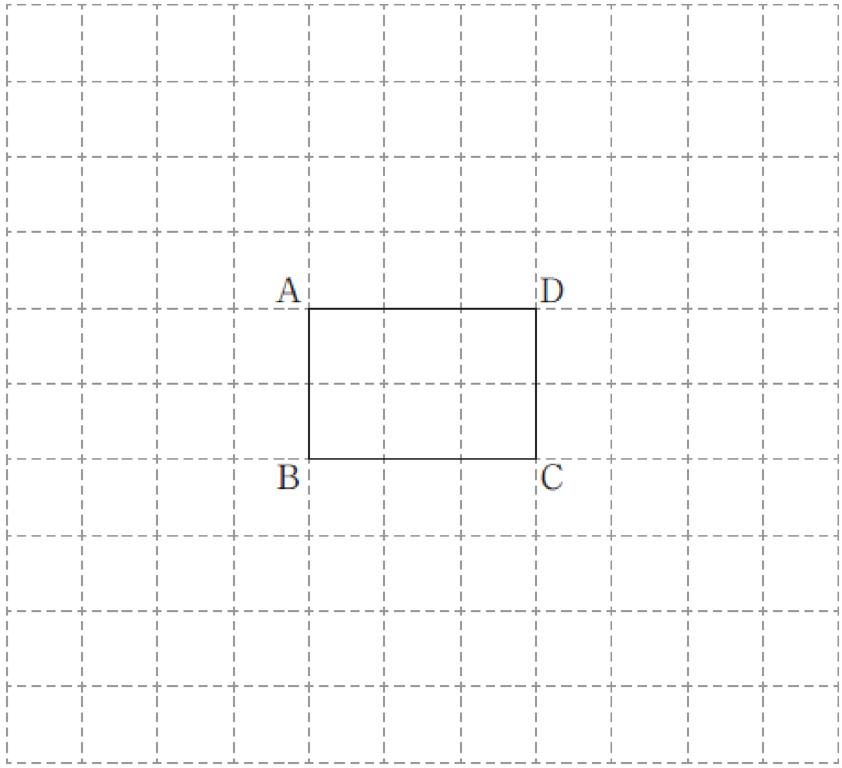
ア　頂点Aを通り辺BCに垂直な直線

イ　頂点Aと辺BCの中点を通る直線

ウ　辺BCの垂直二等分線

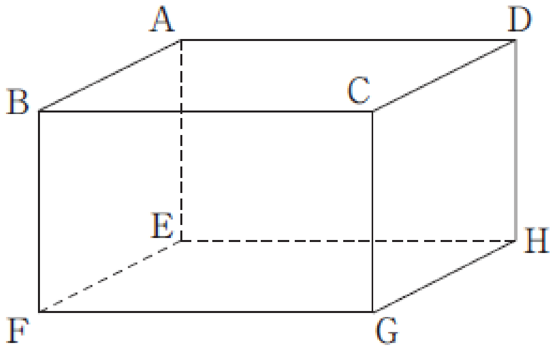
エ　∠Aの二等分線

（３）下の図の長方形ABCDを，点Aを中心として時計回りに90°だけ回転移動した図形を，解答用紙の方眼を利用してかきなさい。

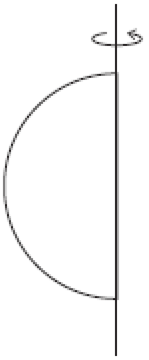


5 次の（１）から（４）までの各問いに答えなさい。

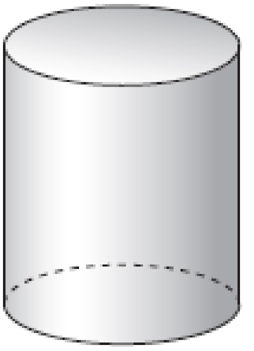
（１）次の図の直方体には，面CGHDと平行な辺がいくつかあります。
そのうちの１つを書きなさい。



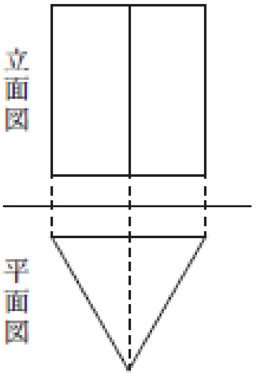
（２）右の図の半円を，その直径を軸として１回転させて立体をつくります。このとき，できる立体の名称を書きなさい。



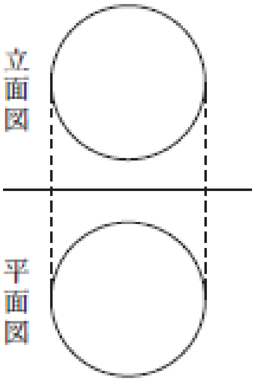
（３）右の図は，円柱の見取図です。この円柱の投影図が，下の**ア**から**エ**までの中にあります。それを１つ選びなさい。



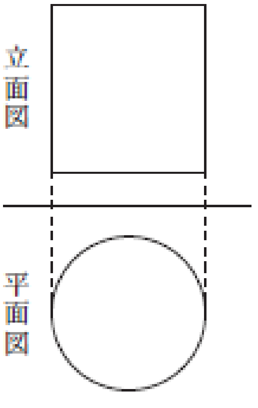
ア



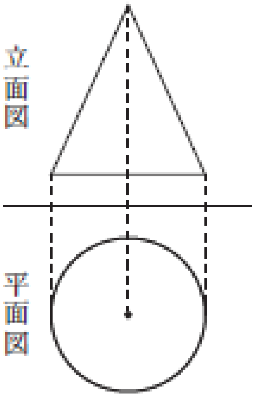
イ



ウ



エ



（４）次の**図１**は四角錐（すい）で，**図２**は四角柱です。それぞれの立体の底面の四角形は合同で，高さは等しいことがわかっています。このとき，**図１**の四角錐の体積は，**図２**の四角柱の体積の何倍ですか。下の**ア**から**オ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。

図１

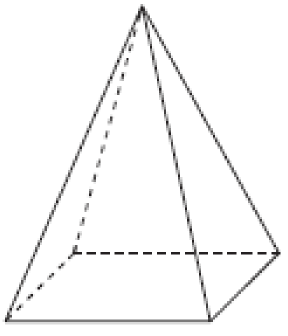
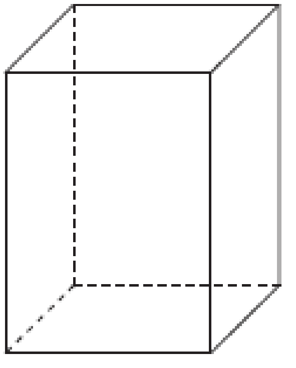


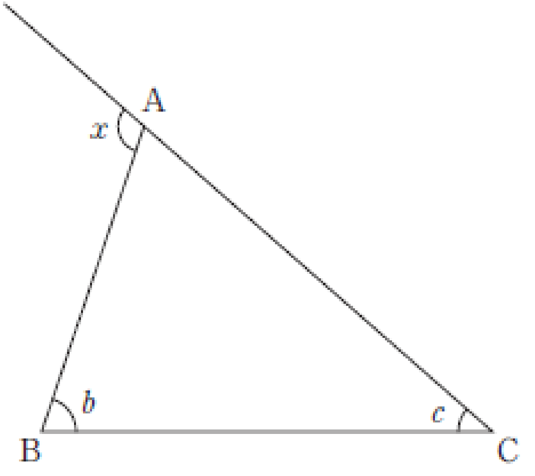
図２



ア　$\frac{1}{4}$倍　　**イ**　$\frac{1}{3}$倍　　**ウ**　$\frac{1}{2}$倍　　**エ**　$\frac{2}{3}$倍　　**オ**　$\frac{3}{4}$倍

6　次の（１），（２）の各問いに答えなさい。

（１）次の図の△ABCで，頂点Aにおける外角∠x の大きさは，∠b と∠c を用いてどのように表されますか。下の**ア**から**オ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。



ア　∠b ＋∠c

イ　∠b −∠c

ウ　180° −∠b

エ　180° −（∠b ＋∠c）

オ　180° −（∠b −∠c）

（２）図１の五角形の頂点Ｐを動かし，∠Ｐの大きさを90°に変えて，図２のような五角形にします。

図１

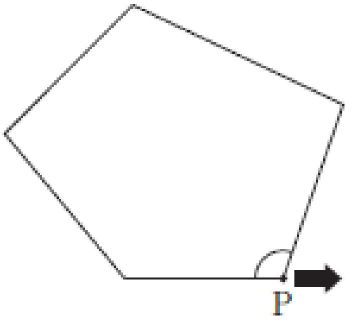
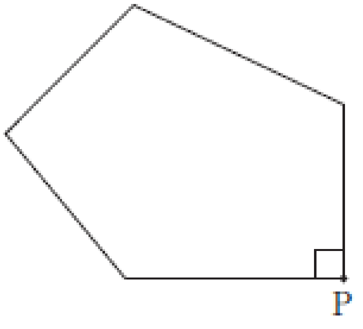


図２



このとき，五角形の内角の和はどうなりますか。下の**ア**から**エ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。

ア　五角形の内角の和は，図１より図２の方が小さくなる。

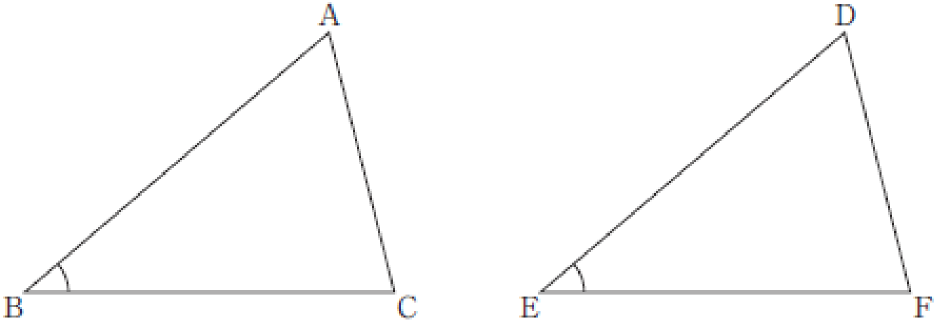
イ　五角形の内角の和は，図１と図２で変わらない。

ウ　五角形の内角の和は，図１より図２の方が大きくなる。

エ　五角形の内角の和がどうなるかは，問題の条件だけでは決まらない。

7　次の（１），（２）の各問いに答えなさい。

（１）次の図の△ABCと△DEFにおいて，∠B＝∠Eであることはわかっています。



このとき，辺や角について，∠B＝∠Eのほかにどのようなことがわかれば，△ABCと△DEFが合同であるといえますか。下の**ア**から**エ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。

ア　AB＝DE，AC＝DF

イ　BC＝EF，AC＝DF

ウ　AB＝DE，∠A＝∠D

エ　∠A＝∠D，∠C＝∠F

（２）長方形で成り立ち，ひし形でも成り立つことを，下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。

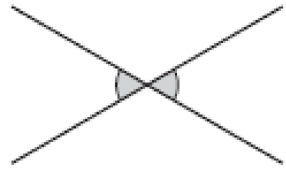
ア　２組の向かい合う辺はそれぞれ平行である。

イ　４つの辺はすべて等しい。

ウ　４つの角はすべて等しい。

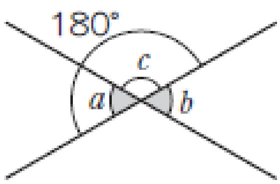
エ　４つの辺はすべて等しく，４つの角はすべて等しい。

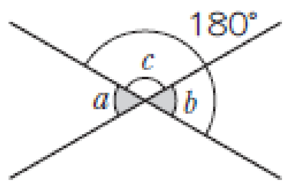
8　ある学級で，「対頂角は等しい」ことの証明について，次の①，②を比べて考えています。



①

下の図のように，対頂角∠a と∠b について，





　　∠a＋∠c = 180° から，∠a = 180° −∠c

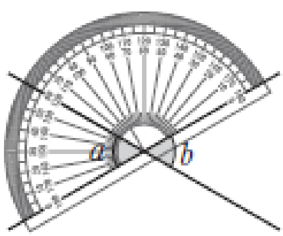
　　∠b＋∠c = 180° から，∠b = 180° −∠c

よって，∠a =∠b

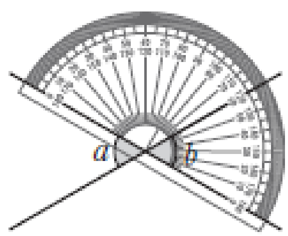
したがって，対頂角は等しい。

②

下の図のように，対頂角∠a と∠b について，
∠a と∠b の大きさをそれぞれ測ると，



∠a = 60°



∠b = 60°

また，２つの直線の交わる角度を変えて，同じように測ると，

　　∠a =　40°　のとき　∠b =　40°

　　∠a =　90°　のとき　∠b =　90°

　　∠a = 110°　のとき　∠b = 110°

よって，∠a =∠b

したがって，対頂角は等しい。

①，②がそれぞれ「対頂角は等しい」ことを証明できているかどうかについて，正しく述べたものを，下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。

ア　①も②も証明できている。

イ　①は証明できているが，②は証明できていない。

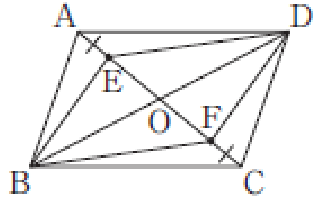
ウ　①は証明できていないが，②は証明できている。

エ　①も②も証明できていない。

4　優花さんは，次の**問題**を解きました。

問題

右の図のように，平行四辺形ABCDの対角線の交点をOとし，線分OA，OC上に，AE＝CFとなる点E，Fをそれぞれとります。
このとき，四角形EBFDは平行四辺形になることを証明しなさい。



優花さんの証明

平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるから，

OB＝OD　……①

OA＝OC　……②

仮定より，

AE＝CF　……③

②，③より，

OA－AE＝OC－CF　……④

④より，

OE＝OF　……⑤

①，⑤より，
対角線がそれぞれの中点で交わるから，
四角形EBFDは平行四辺形である。

次の(１)から(３)までの各問いに答えなさい。

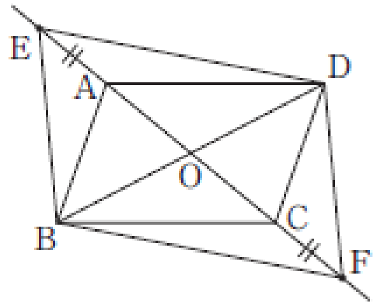
(１) **優花さんの証明**では，四角形EBFDの対角線がそれぞれの中点で交わることから，四角形EBFDは平行四辺形であることを証明しました。四角形EBFDが平行四辺形であることから新たにわかることを，下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。

ア　EB＝FD　　　**イ**　ED＝EF

ウ　OE＝OF　　　**エ**　AE＝CF

（２）右の図のように，平行四辺形ＡＢＣＤの対角線の交点をＯとし，線分ＯＡ，ＯＣを延長した直線上にＡＥ＝ＣＦとなる点Ｅ，Ｆをそれぞれとります。優花さんは，このときも四角形ＥＢＦＤは平行四辺形になると予想しました。

図



図において四角形ＥＢＦＤが平行四辺形になることは，前ページの**優花さんの証明**の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を，下の**ア**から**オ**までの中から１つ選び，正しく書き直しなさい。

ア　平行四辺形の対角線はそれぞれの中点で交わるから，
ＯＢ＝ＯＤ　……①
ＯＡ＝ＯＣ　……②

イ　仮定より，
ＡＥ＝ＣＦ　……③

ウ　②，③より，
ＯＡ－ＡＥ＝ＯＣ－ＣＦ　……④

エ　④より，
ＯＥ＝ＯＦ　……⑤

オ　①，⑤より，
対角線がそれぞれの中点で交わるから，

四角形ＥＢＦＤは平行四辺形である。

（３）前ページの**問題**では，**優花さんの証明**から「四角形ＡＢＣＤが平行四辺形ならば，四角形ＥＢＦＤは平行四辺形である。」ことがわかりました。

問題の平行四辺形ＡＢＣＤを正方形に変えると，四角形ＥＢＦＤは平行四辺形の特別な形になります。四角形ＡＢＣＤが正方形ならば，四角形ＥＢＦＤはどんな四角形になりますか。「**～～ならば，……になる。**」という形で書きなさい。